

『第83回全国小学生歯みがき大会』を開催

公益財団法人ライオン歯科衛生研究所 セルフケアサポート事業部 部長 高橋 直子

1. はじめに

全国小学生歯みがき大会は、小学生の歯と口に対する健康意識を育むことを目的とし、「歯と口の健康週間（6月4日～10日）」に合わせて毎年開催しております。1932年に第1回大会を開催してから、今年で83回目を迎え、全国・海外から過去最多の5,984校、326,213人の小学生が参加いたしました。

本大会は、大会期間中に各学校で日時を設定し、大会内容を収録した動画（YouTubeもしくはDVD）と教材を用いて実施いただく形式です。第83回大会では、明海大学名誉教授の安井利一先生に監修いただき、従来の歯肉炎や自分に合ったセルフケア方法に加え、新たに「口腔機能（噛むこと）」の内容を取り入れ、児童にはその重要性について学んでいただきました。さらに、望ましい生活習慣を毎日続けるという行動は、将来の夢の実現にも繋がることを伝え、児童の継続する力を支援しております。

また、歯みがき大会の当日だけでなく、学んだ内容を実践する教材や、継続的に歯科保健指導で活用できる情報提供を行い、児童の望ましい生活習慣の定着をサポートしています。

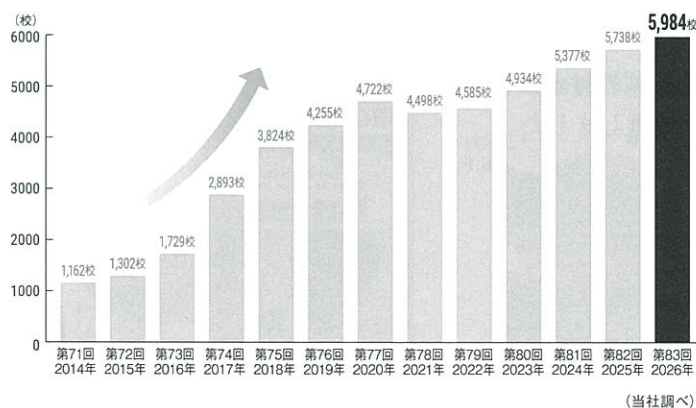
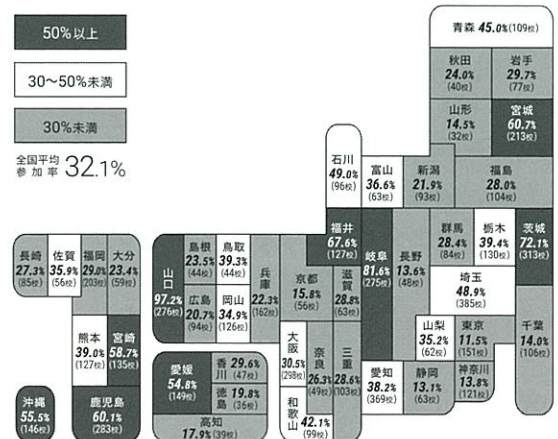
今後も各関連団体のご協力のもと、より多くの小学校にご参加いただけますよう、より一層取り組んでまいりたいと存じます。本稿では、第83回大会の概要と参加小学校の取組などを紹介いたします。

◆ 第83回全国小学生歯みがき大会 概要 ◆

大会期間	2026年6月1日（月）～10日（水）
参加校数	5,984校（参加人数326,213人）
参加対象	小学校5年生（4年生、6年生でも参加可能 ※いずれか1学年の参加）
大会参加方法	大会内容を収録した動画（YouTubeもしくはDVD）を視聴
主 催	（公社）日本学校歯科医会／（一財）東京都学校保健会／ライオン株式会社／（公財）ライオン歯科衛生研究所
後 援	文部科学省／東京都教育委員会／（公財）日本学校保健会／（公社）日本歯科医師会／（公社）東京都歯科医師会／（公社）東京都学校歯科医会／（公社）日本歯科衛生士会

参加校数、参加人数は過去最多！

◆ 全国小学生歯みがき大会参加申込状況 推移

◆ 第83回
全国小学生歯みがき大会
都道府県別参加申込率

※参加申込率は文部科学省「令和7年度学校基本調査」に基づく学校数を用いて算出

※山口県は休校・廃校を除くと参加率100%となります。

2. 第83回全国小学生歯みがき大会 本編内容

◆ 主題：「プラークコントロールを身につけ、歯と歯ぐき・毎日の健康を保とう！」

流れ	本編内容（約40分）	評価の観点
導 入	1. 歯みがきをやりきる大切さ 2. 口の清潔と口の機能の両方が大切であることの気づき	思考力・判断力 思考力・判断力
展 開	1. 歯肉炎について 1) 歯肉炎の有病者率、歯肉炎のサイン 2) 自分の歯ぐきの観察 2. 歯垢について 1) 生きた細菌のかたまりである 2) プラークコントロール、規則正しい生活習慣で歯肉炎が改善することを理解する 3. プラークコントロールの基本的な考え方と実践 1) 歯ブラシでみがけない場所を考える ⇒ デンタルフロスの必要性を理解 2) 生えかわり期に合わせた歯のみがき方と実践 3) デンタルフロスの使い方と実践 4. 生涯、歯ぐきの健康を守るためにすること ⇒ プロケアの必要性を理解 5. 口の機能を引き出すために噛むことの必要性を理解する	知識・理解 思考力・判断力・表現力 知識・理解 知識・理解 思考力・判断力・表現力 知識・技能 知識・技能 知識・理解 知識・理解 思考力・判断力・表現力
まとめ	1. 振り返り学習 2. 毎日やりきることを設定する	学びに向かう力、 人間性

※内容は学習指導要領に示されている学習の三要素「知識・技能」「思考力、判断力、表現力」「学びに向かう力、人間性」に沿って構成
※下線部分は、新たに「口腔機能（噛むこと）」のコンテンツが追加された項目

Topic「口腔機能（噛むこと）」コンテンツ追加！

近年、食生活や社会環境の変化から、「食べる」「話す」といった口腔機能の発達が十分でない子供が増えていることが課題となっております。前回大会の終了後アンケートでは、歯科を含む学校の課題について、58.3%が『かむこと（口腔機能）』に課題があると回答しており、口腔機能への関心の高さがうかがえます。

このような背景から、本大会では歯肉炎や自分に合ったセルフケア方法といった小学校5年生の健康課題である「歯肉炎予防」に加え、新たに「口腔機能（噛むこと）」のコンテンツを追加し、児童が自ら口腔機能を育てていくことの気づきを与える内容で構成しました。

歯科を含む学校の課題について（複数回答可） n=3,660	
生活習慣（間食等）	65.2%
かむこと（口腔機能）	58.3%
歯肉炎のメカニズム（歯肉炎の原因～進行等）	57.5%
むし歯のメカニズム（むし歯の原因～進行等）	56.9%
口唇閉鎖／お口ぼかん（口腔機能）	46.0%
心の健康課題	32.8%
栄養	23.1%
アレルギー	19.5%
その他	1.8%

第82回全国小学生歯みがき大会 終了後アンケート（2025年6月）より



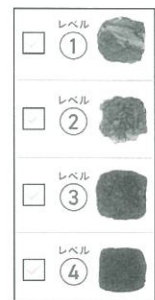
第83回全国小学生歯みがき大会ドリルより

また、大会参加後にご家庭での事後学習に使用できる副教材として、自分の噛む力をチェックできる「噛もっと！ガム」も提供しました。

「噛もっと！ガム」は目に見えない「噛む力」をガムの色の混ざり具合で“見える化”し、ご家庭で「噛む力」を確認できる内容となっております。児童が自分の噛む力に関心を持ち、保護者と一緒に噛むことの大切さを考えるきっかけとして活用いただきました。



噛もっと！ガムリーフレット
（A5判冊子）



色見本

3. 提供教材

児童用、指導者用、家庭連携用として下記の教材を提供しております。歯みがきを含めた生活習慣の確立には、ご家庭での取組も重要です。大会当日だけではなく、ご家庭での振り返りにつながるような教材をご用意しました。

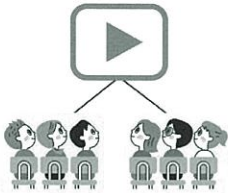
提供教材	児童用教材	大会ドリル	未来宣言カード	歯ブラシ	デンタルフロス
	指導者用教材	大会動画	大会サポートBOOK	学習指導案	監修者動画（安井先生）
	家庭連携用教材	1週間チャレンジ	イーハークエスト	噛もっと！ガム	保護者向けお便り

※提供教材は第83回大会のものです

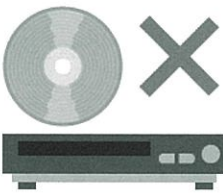
Topic YouTubeを活用した視聴推奨 —DVD選択制の導入—

大会動画については、下記3点の理由からYouTubeを活用してご視聴いただくことを推奨しております。本大会では、申込時に希望いただいた学校のみDVDを提供するという形式へ変更しました。

①学習の利便性向上
YouTube配信により、各クラスで同時に視聴できるほか、教室や特別教室など場所を問わず実施が可能



②学校環境の変化
近年、学校現場ではDVD再生プレーヤーの設置が減少し、再生環境を整えることが困難



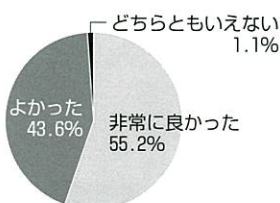
③環境配慮（SDGsの観点）
DVDは使用後に廃棄物となり、資源の有効活用や環境負荷軽減の面から課題がある

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 12 つくる責任 つかう責任

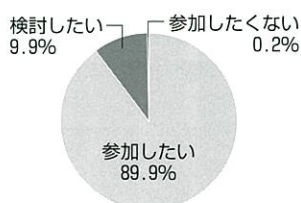
私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

4. 参加小学校の終了後アンケート

①指導者向けアンケート（n=3,986）

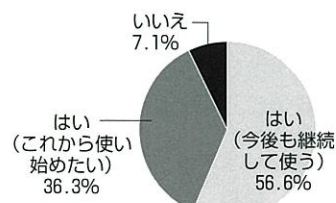


Q. 総合評価



Q. 来年度の参加意向

②児童向けアンケート（n=133,031）



Q. デンタルフロスの使用意向

第83回全国小学生歯みがき大会 終了後アンケート（2026年6月）より
※割合は四捨五入して表示しているため、合計が100%とならない場合があります。

5. 参加校の取組・感想

北海道 札幌市立新琴似北小学校 養護教諭 中西 美貴 先生

毎回たくさんの教材をご準備いただき、観察して、触って、嗅いでの体験型の授業。子供たちは約40分間のアップテンポの充実した内容のおかげで、飽きることなく楽しみながら学習をすることができました。さらに今回は、多くの取材陣に囲まれての授業でしたが、子供たちは学校歯科医の岩寺先生にサポートしていただき、安心して授業に取り組めていました。歯ブラシやデンタルフロスの使い方や歯肉炎などの知識を得られるだけでなく、口の健康が毎日の自身の健康につながることを、何事も継続することが将来の夢の実現や自信へとつながることなど、主体的に学ぶ姿勢を育むことができたと思います。



北海道 札幌市立新琴似北小学校 学校歯科医 岩寺 環司 先生（札幌歯科医師会 監事）

新琴似北小学校では、1～6年生までステップアップしながら歯科保健指導が行われています。全国小学生歯みがき大会は、毎年4年生が参加しており、今年で16回目となりました。大会では、映像を活用し、実習を交えて、歯ぐきの病気、歯垢について、歯みがきの基本とデンタルフロスの使い方、口の機能を引き出すために「噛むこと」の必要性の理解など、多くのことを学ぶことができました。今年は、テレビ局の放映や取材もあり、子供たちは少し緊張気味でしたが、うれしさもあり、いつもより活発に喜んで学習していました。子供たちにとっても、学校にとっても、とても良い機会が与えられ、良い経験になったと思います。

この大会は、歯科保健指導にとって、とても有意義な企画です。歯や歯ぐきのことだけではなく、新しく口腔機能の学びも入り、これからはいろいろな機会を通して、もっともっと多くの参加小学校が増えていくことを心から願っています。

大阪府 寝屋川市立第五小学校 養護教諭 澤 佐知子 先生・藤澤 真理 先生

児童数1,000人を超える本校は、5名の学校歯科校医の先生に歯科健康診断をしていただいています。毎年、学校行事の位置付けで5年生を対象に「全国小学生歯みがき大会」を実施しており、今年は5クラス全員で体育館に集まって実施しました。口の中の観察では、タブレットのカメラアプリを使用することで、大きく映り自分の口の中の様子がよくわかりました。授業後、今回配布された「噛もっと！ガム」を保健委員会の児童が家で保護者と一緒に実施し、「噛めていないことが分かったので、これからはよく噛んで味わって食べようと思った」などの感想を児童集会で発表しました。噛むことの大切さを伝えられるよい機会となりました。

また、大阪府教育庁、寝屋川市教育委員会、学校歯科校医の先生に参観・講話をしていただき、教職員にも実りのある「全国小学生歯みがき大会」となりました。今後も引き続き参加して、歯科保健教育につなげていきたいです。



6. 第84回大会に向けて

今後も全国小学生歯みがき大会を健康教育活動として継続的に実施し、日本および海外における小学生の歯と口に対する健康意識を育むための支援の場としてまいります。また、歯みがき大会を通じて、ご家庭での習慣化、学校現場での継続した歯科保健の取組ができるよう、サポートしてまいります。

来年度、第84回大会は下記の要領で開催予定です。多くの小学校からのお申込みをお待ちしております。

◆ 第84回全国小学生歯みがき大会開催のご案内（予定） ◆

大会期間	2027年6月1日（火）～10日（木）※期間内にて実施日時を自由に設定可能
募集校数	6,200校／341,000人（先着順）
参加対象	小学校5年生（4年生、6年生でも参加可能 ※いずれか1学年の参加）
参加方式	大会内容を収録した動画（YouTubeもしくはDVD）を視聴
参加費用	無料 ※使用する教材（ドリル・歯ブラシなど）も無償提供
募集期間	2027年1月5日（火）～2月26日（金）まで 右記サイトにて参加申込みをお受けいたします

ライオン歯科衛生研究所

検索

<https://www.lion-dent-health.or.jp/>

